

平成29年度
専攻科学生募集要項
(出願書類添付)



独立行政法人国立高等専門学校機構
秋田工業高等専門学校
National Institute of Technology, Akita College

〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号
TEL (018) 847-6018
FAX (018) 847-0372
URL <http://akita-nct.jp>

目 次

秋田工業高等専門学校専攻科案内	1
1. 設 置	1
2. 目 的	1
3. 専攻及び入学定員	1
4. 修業年限及び修了要件	1
5. 各専攻の教育方針	1
6. 学士の学位の取得方法	1
7. 入学時に必要な諸経費	1
8. 奨学制度	2
学生募集要項	3
Ⅰ アドミッションポリシー（入学者受入方針）	3
Ⅱ 募集人員	3
Ⅲ 選抜の方法	3
推薦選抜	3
1. 出願資格	3
2. 出願手続	3
出願書類等	4
3. 選抜の方法	5
4. 選抜の日時と試験場	5
5. 合格発表	5
6. 入学確約書の提出	5
7. 推薦選抜の結果合格とならなかった場合の取扱い	5
学力選抜	6
1. 出願資格	6
2. 出願手続	6
出願書類等	6
3. 選抜の方法	7
4. 選抜の日時と試験場	8
5. 合格発表	8
6. 入学確約書の提出	8
社会人特別選抜	8
1. 出願資格	8
2. 出願手続	9
出願書類等	9
3. 選抜の方法	10
4. 選抜の日時と試験場	10
5. 合格発表	10

6. 入学確約書の提出	11
IV 出願に当たっての留意事項	11
V 個人情報の取扱いについて	11
VI 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について	11
VII 入学手続	11

添付書類 1. 入学願書 2. 受験票・写真票 3. 調査書 4. 推薦書 5. 志願承諾書
6. 検定料振込用紙 7. あて名票

秋田工業高等専門学校 専攻科案内

1. 設 置

平成6年4月

2. 目 的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な工業に関する知識及び技術を教授研究し、優れた独創的開発能力を備えた実践的工業技術者を養成し、もって広く産業の発展に寄与することを目的とします。

3. 専攻及び入学定員

生産システム工学専攻 8 名

環境システム工学専攻 8 名

4. 修業年限及び修了要件

(1) 修業年限 2年

(2) 修了要件 62単位以上修得

5. 各専攻の教育方針

生産システム工学専攻

本科課程の機械工学科系と電気情報工学科系において修得した基礎学力を基盤に複合化し、生産システムに不可欠な精密加工、エレクトロニクス、コンピュータ、制御、半導体、新素材等を含む先端技術に深く関わる教育を行い、高度な生産システムの研究・開発能力と解析能力を合わせ備えた創造的実践技術者を育成します。

環境システム工学専攻

本科課程の物質工学科系と環境都市工学科系において修得した基礎学力を基盤に複合化し、環境問題に対応した新物質・新素材の製造技術及び水・地盤環境、防災システム、計画論等に深く関わる教育を行い、高度な環境システムの研究・開発能力と解析能力を合わせ備えた創造的実践技術者を育成します。

6. 学士の学位の取得方法

専攻科の修了要件を満たし、かつ、大学評価・学位授与機構が定める基礎資格を有し、同機構が定める学位授与に必要な科目・単位を修得した上で審査に合格した者には「学士（工学）」の学位が授与され、4年制大学卒業者と同等の資格が与えられます。

専攻科合格者であっても、専攻科入学前に修得した科目・単位によっては、大学評価・学位授与機構が定める修得単位審査基準を満たさない場合があります。その場合、本科の授業科目を受講するか、他の高等教育機関で受講するなど、不足する単位を修得する必要があります。

7. 入学時に必要な諸経費

平成29年度（予定額）

入 学 料 84,600円 …… 入学手続時に必要

授 業 料 年額 234,600円 …… 年2回に分けて納付

前期分117,300円は入学時に納付

* 授業料は、希望により前期分納付の際に、後期分も合わせて納付することができます。

* 上記入学料及び授業料は予定額であり、高等専門学校機構本部からの通知により金額が改定される場合があります。

8. 奨学制度

経済的理由により修学が困難な事情にあり、学業成績、人物ともに優れた学生のための奨学制度があります。

(1) 入学料・授業料免除制度

入学料 …… 入学前の1年以内において、学資を負担している者が死亡、又は風水害等の災害を受けた場合、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、願出により選考の上、入学料を免除することがあります。

授業料 …… 経済的な理由、災害等により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対しては、授業料を免除することがあります。

(2) 奨学金

経済的理由により修学が困難な事情にあり、学業成績、人物ともに優れた学生のために独立行政法人日本学生支援機構の奨学制度があり、選考の上、奨学金が貸与されることがあります。その他地方公共団体等から奨学金を受けられる場合があります。

学 生 募 集 要 項

I アドミッションポリシー（入学者受入方針）

本校では、次のような人を求めています。

1. 基礎専門学力を有し、実践的技術を支える先端知識の修得に意欲のある人
2. 複合領域の科学技術に興味を持ち、研究開発に意欲のある人
3. 技術者倫理を身につけ、地域及び社会に貢献したい人

（入学者選抜の基本方針）

以上の入学者受入方針に基づき、次のような入学者選抜を実施します。

・推薦選抜

準学士課程の学業成績が優秀で、先端知識修得への意欲が高く、研究開発にも意欲のある学生を選抜します。そのため、調査書等の提出書類の評価に加え、面接試験の結果を総合して判定します。

・学力選抜

数学・英語・専門科目の学力及び準学士課程等の学業成績が優秀で、先端知識修得への意欲が高く、研究開発にも意欲のある学生を選抜します。そのため、数学・英語・専門科目の学力試験及び調査書の評価に加え、面接試験の結果を総合して判定します。

・社会人特別選抜

準学士課程等の学業成績が優秀で、先端知識修得への意欲が高く、研究開発にも意欲のある社会人学生を選抜します。そのため、調査書等の提出書類の評価に加え、面接試験の結果を総合して判定します。

II 募集人員

生産システム工学専攻	8 名	
環境システム工学専攻	8 名	計 16 名

III 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦選抜、学力選抜及び社会人特別選抜の三つの方法で行います。

推 薦 選 抜

1. 出願資格

次の各号すべてに該当する者とします。

- (1) 平成29年3月高等専門学校を卒業見込みの者
- (2) 在籍学校長が推薦する者（ただし、本校の在籍者については学科長が推薦する者）
- (3) 高等専門学校の第4学年の学年成績が次のいずれかであること。
 - ① 学科席次が上位1/2以内
 - ② 平均点がクラスの平均点以上であること。
- (4) 本校に合格した場合、確実に入学する者

2. 出願手続

- (1) 出願期間 平成28年4月25日（月）～平成28年5月2日（月）
（受付期間内必着とします。）

(2) 出願書類等

1. 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2. 受験票・写真票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cmのもの）を貼ってください。
3. 調査書	本校所定の用紙に在籍（出身）学校長が記入の上、厳封したものとします。（高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。）
4. 推薦書	在籍学校別に用紙が違いますので、ご注意ください。 本校以外の在籍者…所定の用紙により在籍学校長が作成したもの。 本校の在籍者………所定の用紙により学科長が作成したもの。
5. 検定料	<p>16,500円</p> <p>本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。</p> <p>なお、振込後「振込金受取書」の写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。</p> <p>また、払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。</p> <p>（ア） 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は受理されなかった）場合</p> <p>（イ） 検定料を誤って二重に払い込んだ場合</p> <p>（注） 返還に伴う振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>【郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込手続きについて】</p> <p>検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ます。その際は、以下の条件を満たしてください。</p> <p>①ゆうちょ銀行からの振込は、<u>志願者本人名のゆうちょ銀行口座</u>からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。</p> <p>②ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。</p> <p>③振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。</p>
6. 受験票送付用封筒	志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、（自宅外の者は、〇〇方まで記入）82円分の郵便切手を貼ってください。 直接願書を持参する場合は不要です。
7. あて名票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。（二つ折り厳禁）
8. 「在留カード」の写し又は外国人登録済証明書	外国人で、現に日本に在留している志願者は、在留カードの写し又は市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願方法

出願書類等を一括して、本校学生課教務係へ持参又は郵送にて提出してください。

持参の場合は、出願期間中（土・日及び祝日を除く）各日9時から16時までの間本校学生

課教務係へ持参してください。

郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

郵送先：秋田工業高等専門学校 学生課教務係 〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号

(4) 出願上の留意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 願書提出後は、志望専攻及びその他の記載事項の変更は認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続を完了した際に、受験票を交付します。
- ⑤ 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課教務係へお問い合わせください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書及び面接(口頭試問(物理1問・化学1問・専門2問の計4問)を含む。)の結果を総合して行います。

4. 選抜の日時と試験場

期 日	区 分	時 間	試 験 場
5月12日(木)	面接(口頭試問(物理1問・化学1問・専門2問の計4問)を含む)	13:00～	秋田工業高等専門学校

当日は必ず受験票を持参し、12時30分までに、受付を済ませてください。

5. 合格発表

平成28年5月18日(水)13時(予定)、本校正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者には文書で通知します。

また、本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を平成28年5月27日(金)17時までに本校学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱います。

7. 推薦選抜の結果合格とならなかった場合の取扱い

「推薦選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力選抜」を希望する者は、「学力選抜」の願書受付期間内に次の手続を取ってください。

- (1) 入学願書、受験票・写真票を提出し、受験票の交付を受けてください。
- (2) 検定料16,500円を「検定料振込用紙」により納付してください。

学 力 選 抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は平成29年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

- (1) 出願期間 **平成28年5月30日(月)～平成28年6月3日(金)**
出願期間中各日9時から16時までの間本校学生課教務係へ持参又は郵送してください。(受付期間内必着とします。)

- (2) 出願書類等

1. 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2. 受験票・写真票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cmのもの)を貼ってください。
3. 調査書	本校所定の用紙に在籍(出身)学校長が記入の上、厳封したものとします。(高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。)
4. 検定料	<p>16,500円</p> <p>本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。</p> <p>なお、振込後「振込金受取書」の写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。</p> <p>また、払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があつても返還いたしません。</p> <p>(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は受理されなかった)場合</p> <p>(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合</p> <p>(注) 返還に伴う振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>【郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込手続きについて】 検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことができます。その際は、以下の条件を満たしてください。</p>

	<p>①ゆうちょ銀行からの振込は、<u>志願者本人名のゆうちょ銀行口座</u>からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。</p> <p>②ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。</p> <p>③振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。</p>
5. 受験票送付用封筒	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、(自宅外の者は、〇〇方まで記入) 82円分の郵便切手を貼ってください。 直接願書を持参する場合は不要です。</p>
6. あて名票	<p>本校所定の用紙に必要な事項を記入してください。(二つ折り厳禁)</p>
7. 「在留カード」の写し又は外国人登録済証明書	<p>外国人で、現に日本に在留している志願者は、在留カードの写し又は市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。</p>

(3) 出願方法

出願書類等を一括して、本校学生課教務係へ持参又は郵送にて提出してください。

持参の場合は、出願期間中各日9時から16時までの間本校学生課教務係へ持参してください。

郵送の場合は、必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と**朱書**してください。

郵送先：秋田工業高等専門学校 学生課教務係 〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号

(4) 出願上の留意事項

- ① **提出書類に不備がある場合は、受理しません。**
- ② 願書提出後は、志望専攻及びその他の記載事項の変更は認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続を完了した際に、受験票を交付します。
- ⑤ 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課教務係へお問い合わせください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、面接及び在籍(出身)学校長からの調査書の結果を総合して行います。

学力検査科目

ア. 一般科目 数学(微分, 積分, 微分方程式)
英語

イ. 専門科目 専攻別の出題範囲は、次表のとおりです。
志願者は専攻ごとに**出題範囲から4科目を選択して解答**してください。

専 攻	出 題 範 囲
生産システム工学専攻	機械加工学, 材料力学, 熱力学, 流体力学
	電気磁気学, 電気回路, 電子回路, 制御工学
	無機化学, 有機化学, 物理化学, 化学工学, 生物化学

環境システム工学専攻	構造力学，鉄筋コンクリート工学，水理学，地盤工学，環境工学 建築・都市計画
------------	--

4. 選抜の日時と試験場

期 日	科 目 等	時 間	試 験 場
6月15日(水)	数 学	9:20~10:50	秋田工業高等専門学校
	英 語	11:10~12:10	
	専門科目	13:00~15:00	
	面 接	15:20~	

当日は，下記の携行品を必ず持参し，8時50分までに受付を済ませてください。

携行品…… 受験票，鉛筆（シャープペンシル可），消しゴム

※ 電卓の持込は認めません。

専門科目受験時には，本校から電卓（関数機能付き シャープEL-566）を貸与します。

5. 合格発表

平成28年6月21日（火）13時（予定），本校正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに，合格者には文書で通知します。

また，本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお，電話等による合否の問い合わせには応じません。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は，『入学確約書』を平成28年7月1日（金）17時までに本校学生課教務係へ提出してください。

なお，期限までに『入学確約書』を提出しない者は，本校に入学の意志がない者として取り扱います。

社会人特別選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者で，かつ出願時において企業等の在職経験（※）が1年以上ある者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち，学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において，学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において，外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度におい

て位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※企業等の在職経験には、常勤・非常勤の別はありません。ただし、主たる身分が学生の場合、アルバイト等は在職経験には含みません。

2. 出願手続

(1) 受付期間 平成28年10月28日(金)～平成28年11月2日(水)
出願期間中(土・日を除く)各日9時から16時までの間本校学生課教務係へ持参又は郵送してください。(受付期間内必着とします。)

(2) 出願書類等

1. 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2. 受験票・写真票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真(出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、縦4cm×横3cmのもの)を貼ってください。
3. 調査書	本校所定の用紙に在籍(出身)学校長が記入の上、厳封したものとします。(高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。)
4. 在職経験に関する証明書	過去に在職した企業等が発行する、在職経験が1年以上あることを記載した証明書(在職期間、職務内容、身分等を記載)を提出してください。〈様式任意〉
5. 志願承諾書	企業等に在職のまま出願する志願者のみ、本校所定の用紙を使用し、所属の長が作成したものを提出してください。なお、この志願承諾書に記載された在職期間が1年以上の場合は、上記の「在職経験に関する証明書」を提出する必要はありません。
6. 検定料	<p>16,500円</p> <p>本募集要項に綴じ込みの「検定料振込用紙」に志願者名を記入し、銀行で振り込んでください。</p> <p>なお、振込後「振込金受取書」の写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。</p> <p>また、払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。</p> <p>(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は受理されなかった)場合</p> <p>(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合</p> <p>(注) 返還に伴う振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>【郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込手続きについて】</p> <p>検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことが出来ます。その際は、以下の条件を満たしてください。</p> <p>①ゆうちょ銀行からの振込は、<u>志願者本人名</u>のゆうちょ銀行口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。</p> <p>②ゆうちょ銀行からの振込は、本要項に添付されている振込依頼書を</p>

	<p>使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、それにより振り込んでください。</p> <p>③振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを受験票・写真票の所定の欄に貼って提出してください。</p>
7. 受験票送付用封筒	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、(自宅外の者は、〇〇方まで記入) 82円分の郵便切手を貼ってください。</p> <p>直接願書を持参する場合は不要です。</p>
8. あて名票	<p>本校所定の用紙に必要な事項を記入してください。(二つ折り厳禁)</p>
9. 「在留カード」の写し又は外国人登録済証明書	<p>外国人で、現に日本に在留している志願者は、在留カードの写し又は市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。</p>

(3) 出願方法

出願書類等を一括して、本校学生課教務係へ持参又は郵送にて提出してください。

持参の場合は、出願期間中(土・日を除く) 各日9時から16時までの間本校学生課教務係へ持参してください。

郵送の場合は、必ず**書留郵便**とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と**朱書**してください。

郵送先：秋田工業高等専門学校 学生課教務係 〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号

(4) 出願上の留意事項

- ① **提出書類に不備がある場合は、受理しません。**
- ② 願書提出後は、志望専攻及びその他の記載事項の変更は認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。
- ③ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続を完了した際に、受験票を交付します。
- ⑤ 日本技術者教育認定機構(JABEE)の修了を希望する者、学士(工学)の学位の取得を希望する者は、「IV 出願に当たっての留意事項」を参照してください。
- ⑥ 出願等に関し不明な点があるときは、本校学生課教務係へお問い合わせください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、出身学校長からの調査書及び面接(口頭試問を含む。)の結果を総合して行います。

4. 選抜の日時と試験場

期 日	区 分	時 間	試 験 場
11月11日(金)	面接(口頭試問を含む)	13:00～	秋田工業高等専門学校

当日は必ず**受験票**を持参し、12時30分までに受付を済ませてください。

5. 合格発表

平成28年11月17日(木)13時(予定)、本校正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には文書で通知します。

また、本校のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を平成28年11月25日(金)17時までに本校学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、本校に入学の意志がない者として取り扱います。

IV 出願に当たっての留意事項

平成28年度本校学科(準学士課程)を卒業見込みの出願者以外の者で、次のいずれかに該当する者は、出願締切の2週間前までに学生課教務係に照会してください。

- (1) 日本技術者教育認定機構(JABEE)に対応する本校の教育課程「創造工学システムプログラム」の修了を希望する者
- (2) 本校専攻科修了時に学士(工学)の学位の取得を希望する者

V 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価など入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の修学指導及び学生支援
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VI 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

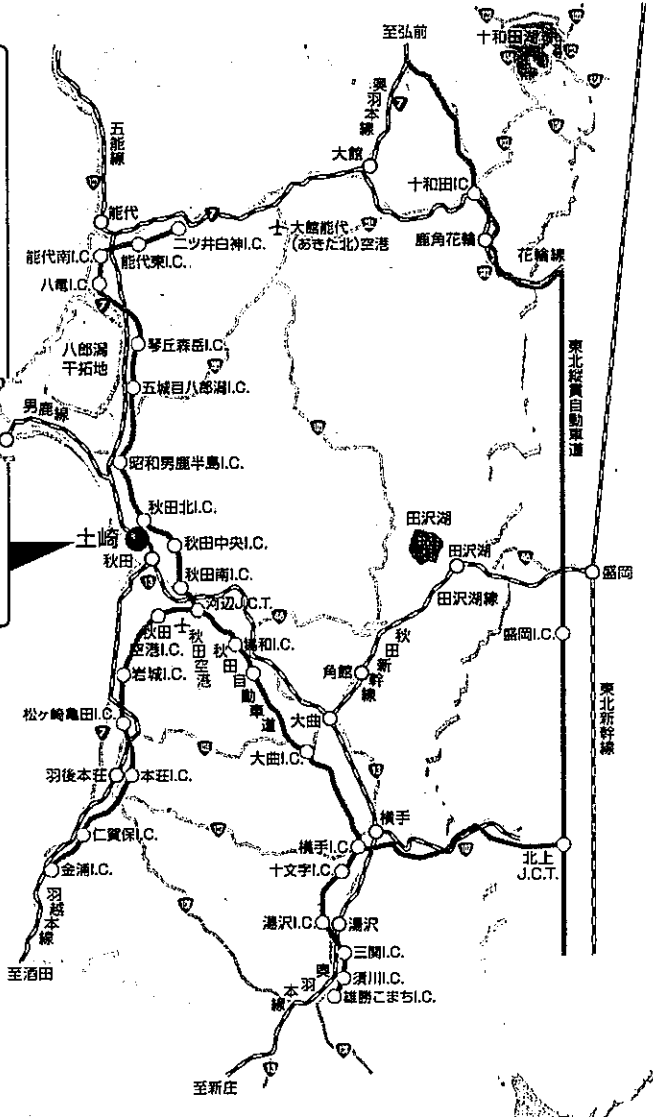
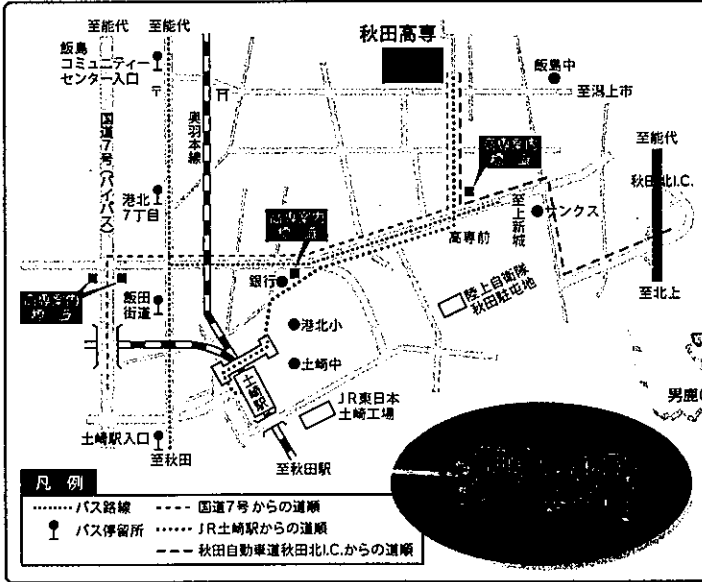
身体に障害を有する者で、受験上特別な配慮を希望する場合は、出願前に学生課教務係にお問い合わせ下さい。

VII 入学手続

平成29年3月上旬に、別途通知します。

学校所在地略図

ACCESS TO COLLEGE



●秋田市周辺からのアクセス

- 土崎駅→徒歩: 土崎駅 ▶ 徒歩 約25分 ▶ 本校
- 秋田駅→バス
 - 土崎線(新国道経由・寺内経由) 秋田駅 ▶ バス 約30分 ▶ 飯島コミュニティセンター入口 ▶ 徒歩 約10分 ▶ 本校
 - 五城目線 ○追分線
 - 秋田厚生医療センター線(新国道土崎経由) 秋田駅 ▶ バス 約30分 ▶ 高専前 ▶ 徒歩 約5分 ▶ 本校
- 秋田駅→タクシー ●土崎駅→タクシー ●秋田空港→タクシー
 - 秋田駅 ▶ 約30分 ▶ 本校
 - 土崎駅 ▶ 約10分 ▶ 本校
 - 秋田空港 ▶ 約40分 ▶ 本校

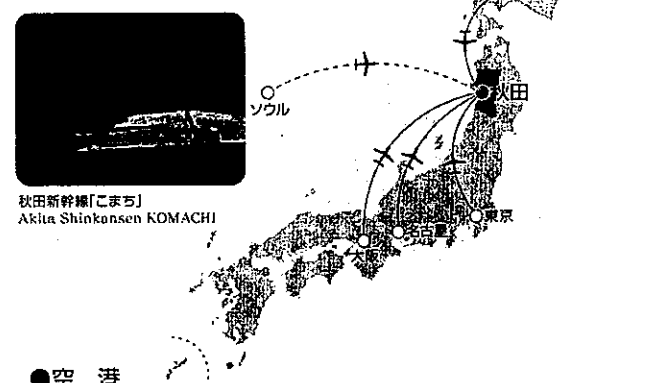
●秋田県外からのアクセス

- 鉄道

札幌	室蘭本線経由	函館	津軽海峡線	青森	奥羽本線	所要時間: 約9時間
仙台			秋田新幹線			所要時間: 約2時間
東京			秋田新幹線			所要時間: 約4時間
- 高速バス

新宿	所要時間: 約8時間
仙台	所要時間: 約4時間
- 高速道路

川口I.C.T.	東北縦貫自動車道	北上I.C.T.	秋田自動車道	秋田北I.C.	秋田高専	所要時間: 約4時間40分	約1時間35分	約10分(車)
----------	----------	----------	--------	---------	------	---------------	---------	---------



- 空港

新潟県空港	所要時間: 約55分
東京国際空港	所要時間: 約1時間5分
中部国際空港	所要時間: 約1時間25分
大阪国際空港	所要時間: 約1時間20分